

第 2 期秋田県がん対策推進計画で講じた施策の状況と評価

【全体目標の評価】

全体目標	評価
がんによる死亡者の減少「がんの年齢調整死亡率（75歳未満）20％減少」	平成27年度の年齢調整死亡率（75歳未満）は91.2であり、目標値（76.8）は達成されていない。
全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	・国立がん研究センターの「患者体験調査」によると、実際の苦痛に関して「ない」という回答（「苦痛／痛み／気持ちのつらさがある」という質問に対して「あまり思わない／そう思わない」という回答）は、全体で57～72％に対し、秋田県では67～76％と上回った。
がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築	・国立がん研究センターの「患者体験調査」によると、「治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したことがある」という回答は、全体で2.7％に対し、秋田県では0％と下回った。 ・国立がん研究センターの「患者体験調査」によると、「がんになったことで、ご家族に負担をかけていると感じるか」という問いに対し、「よく感じる/ときどき感じる」という回答は、全体で42.1％に対し、秋田県では38.3％と下回った。 ・国立がん研究センターの「患者体験調査」によると、「そのとき働いていた職場や仕事上の関係者にがんと診断されたことを話しましたか」という問いに対し、「関係者に広く話した/一部の関係者のみに限定して話した」という回答は、全体で90.5％に対し、秋田県では84.1％と下回った。

※「患者体験調査」（都道府県がん診療連携拠点病院と、地域がん診療連携拠点病院のうち1施設を無作為抽出し、19歳以上のがん患者を対象に調査）

（「がん対策における進捗管理評価指標の策定と計測システムの確立に関する研究」国立がん研究センターH27.11月）

【個別目標の評価】

H29.7.27現在

分野別施策		目標項目	目標値		計画策定時の基準値		現状値	年度	現状値出典	2期計画中に講じた施策	評価	
予 防 対 策 の 推 進	たばこ対策の推進	喫煙者の割合（成人・未成年）	成人男女	16.8%	成人男女	20.5%	成人男女	21.6%	H27	健康づくりに関する調査 （H27年：秋田県） ※3年ごとの調査	・世界禁煙デー及び禁煙習慣に合わせた街頭キャンペーンやフォーラムの開催 ・「秋田県受動喫煙防止対策ガイドライン」の施行 ・禁煙または分煙に取り組む施設へ登録証を交付	（成人）策定時に比して男女とも悪化しており、目標値は達成していない。 （未成年）目標値を達成している。 ※禁煙に関するキャンペーンや普及啓発、喫煙者への禁煙支援に関する情報提供や「秋田県受動喫煙防止対策ガイドライン」に基づく受動喫煙防止対策等を行ってきたが、喫煙率の低下には至っていない。喫煙者そのものの絶対数を減らすため、喫煙者や喫煙予備軍などを減らす取組として、禁煙に対する支援や未成年などが吸わないよう親世代などに働きかけていく必要がある。
			男性	27.6%	男性	33.5%	男性	33.9%				
			女性	7.9%	女性	9.8%	女性	11.0%				
			高3男女	0.0%	高3男女	2.3%	高3男女	0.0%	H26	飲酒・喫煙・薬物・性に関する調査 （H26年：秋田県） ※4年ごとの調査		
			男子	0.0%	男子	3.0%	男子	0.0%				
			女子	0.0%	女子	1.4%	女子	0.0%				
	食生活の改善	多量飲酒者（3合以上）の割合	成人男女	0%	成人男女	7.7%	成人男女	7.0%	H27	健康づくりに関する調査 （H27年：秋田県） ※3年ごとの調査	・適正飲酒リーフレット（医師会監修）の作成・配布	男性は減少、女性は微増しているが、目標値を達成していない。
			男性	0%	男性	9.8%	男性	8.4%				
			女性	0%	女性	4.5%	女性	4.6%				
		食塩の摂取量	1日	8g未満	1日	11.1g	1日	－g	H28	県民健康・栄養調査（H28年：秋田県） ※5年ごとの調査	・循環器疾患予防研修会、減塩教室の開催 ・野菜摂取推進事業（野菜を食べようキャンペーン）等の実施	※集計中。
	野菜の摂取量	1日	350g以上	1日	308.6g	1日	－g					
	身体活動・運動の推進	週2日以上運動する者の割合	成人男女	50.0%	成人男女	45.0%	成人男女	42.5%	H27	健康づくりに関する調査 （H27年：秋田県） ※3年ごとの調査	・ユフォールレ運動講師派遣事業（ロコモ・メタボ予防教室、転倒・骨折予防教室）実施	策定時に比して男女とも減少しており、目標値は達成していない。
			男性	50.0%	男性	49.3%	男性	47.4%				
			女性	50.0%	女性	42.1%	女性	38.3%				
	感染症予防対策の推進	※目標設定なし							・肝炎の診療体制や検査体制の整備、医療費の助成等	－		

【個別目標の評価】

H29. 7. 27現在

	分野別施策	目標項目	目標値	計画策定時の基準値	現状値	年度	現状値出典	2期計画中に講じた施策	評価	
がん検診の受診率及び質の向上	がん検診における受診率のより正確な把握	※目標設定なし						・職域も含めた検診実施状況調査の実施（県医師会）	－	
	がん検診の受診率向上対策	市町村が実施するがん検診の受診率	50%	胃がん検診	15. 3%	胃がん検診	13. 6%	H27 地域保健・健康増進事業報告、がん対策室調（H27年：秋田県）	・「秋田県がん検診推進協議会総会」の開催 ・検診自己負担額の無料化及び軽減、クーポン券等の配布、個別の受診勧奨・再勧奨の実施 ・コール・リコール担当者講習会の開催 ・コール・リコールに関するモデル事業の実施 ・休日検診にかかる人件費等に対する助成 ・「秋田県がん対策に関する協定書」を県内企業と締結（秋田県がん対策推進企業等連携協定）	胃がん検診以外は策定時に比して改善しているが、全ての検診で目標値は達成していない。 ※職場や市町村が行っているがん検診を受診しない理由では「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が26. 3%で最も多く、次いで「時間がとれなかったから」23. 2%、「面倒だから」18. 7%、「費用がかかるから」15. 9%となった。（「H27年度健康づくりに関する調査」） 体調に異常を感じたら医療機関を受診するという回答が多いことから、定期的ながん検診を受診する必要性等について県民等の理解を得るため、健康に関心のない層に対してかかりつけ医からも検診受診について働きかけていただくなど、無関心層に受診を促し、受診率を向上させる仕組みづくりが必要である。 検診受診者への働きかけについては、市町村とこれまでの取組について検証を加えながら、そのあり方について検討する必要がある。
				肺がん検診	20. 5%	肺がん検診	22. 1%			
				大腸がん検診	26. 6%	大腸がん検診	27. 2%			
				子宮がん検診	22. 6%	子宮がん検診	23. 0%			
				乳がん検診	23. 1%	乳がん検診	23. 6%			
		職域等において実施するがん検診の受診率	50%	胃がん検診	26. 3%	胃がん検診	27. 4%	H27 がん対策室調べ（H27年）	・「秋田県がん検診推進協議会総会」の開催 ・職域も含めた検診実施状況調査の実施（県医師会） ・啓発パンフレット等の作成、配布	全ての検診で策定時に比して改善しているが、目標値は達成していない。 ※職域の検診については、事業主の考え方が多様なため、県として介入しておらず、実態把握できていないが、県全体のがん死亡率を減少させるためには、働き盛りの世代が多くを占める職域の受診率を向上させるための何らかの対策を講ずる必要がある。
				肺がん検診	12. 4%	肺がん検診	13. 1%			
				大腸がん検診	18. 3%	大腸がん検診	19. 9%			
				子宮がん検診	－	子宮がん検診	21. 8%			
				乳がん検診	－	乳がん検診	16. 2%			
	がん検診提供体制の充実	※目標設定なし						・市町村担当者会議による情報共有 ・検診車や検診機器の無償貸与 ・検診体制のあり方に関する検討会の開催 ・横手地区におけるモデル的取組の試行	－	
	普及啓発の推進	※目標設定なし						・「秋田県がん検診推進協議会総会」の開催 ・啓発パンフレット等の作成、配布 ・フォーラム、セミナー等の開催	－	
	がん検診の質の向上（精度管理・事業評価）	技術・体制的指標、プロセス指標を活用したがん検診の精度管理・事業評価を実施	25市町村	－	25市町村	H29	がん対策室調べ（H29年）	・市町村及び検診機関を対象とした精度管理研修会等の開催 ・市町村及び検診実施団体別の精度管理指標の公開 ・各がん部会において、精度管理指標の評価、市町村等への助言	全ての市町村で実施しており、目標値を達成している。	
		市町村が実施するがん検診の精密検査受診率	90%	胃がん検診	76. 0%	胃がん検診	80. 4%		H26 地域保健・健康増進事業報告、がん対策室調（H26年：秋田県）	全ての検診で策定時に比して改善しているが、目標値は達成していない。 ※H28年度は精度管理の指標について、一定の基準を満たしていない市町村に対して改善計画を提出させることとしたため、各市町村において更なる精度管理を進め、精検受診率が向上するものと考えられる。 また、精検対象の二次検査医療機関の名簿を県医師会で作成し、受診勧奨の通知とともに精検対象者に送付するなど、受診環境の整備を行っている。 今後は、各福祉環境部と連携し、市町村への実地検査などを行うことにより、精検受診環境を充実させていく必要がある。
				肺がん検診	75. 7%	肺がん検診	76. 7%			
				大腸がん検診	69. 0%	大腸がん検診	71. 0%			
				子宮がん検診	80. 8%	子宮がん検診	82. 2%			
				乳がん検診	76. 4%	乳がん検診	84. 7%			

【個別目標の評価】

H29. 7. 27現在

	分野別施策	目標項目	目標値	計画策定時の基準値	現状値	年度	現状値出典	2期計画中に講じた施策	評価
質の高いがん医療の提供	（１）放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進								
	チーム医療の推進 がん診療連携体制の整備 専門性の高い医療体制の整備	放射線療法を行う拠点病院等に、放射線療法に携わる専門医療従事者（放射線治療専門医、放射線治療品質管理士、放射線治療専門放射線技師など）を配置	10病院（雄勝中央病院、北秋田市民病院を除く）	3 病院	8 病院	H28	日本放射線治療専門放射線技師認定機構（H28. 10. 1現在） がん診療連携拠点病院現況報告（H28. 9. 1） がん診療連携推進病院現況報告（H28. 9. 1）	・国の指定基準を満たすための体制整備に要する経費に対する助成 ・がん関連の専門性の高い医療従事者の育成に要する経費に対する助成	策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
		拠点病院等に、化学療法に携わる専門医療従事者（がん薬物療法専門医、がん薬物療法認定薬剤師など）を配置	12病院	2 病院	10病院	H28	日本臨床腫瘍学会（H29. 3. 22現在） 日本病院薬剤師会（H28. 10. 1現在） がん診療連携拠点病院現況報告（H28. 9. 1） がん診療連携推進病院現況報告（H28. 9. 1）	・がん拠点病院等の放射線治療機器（リニアック）の更新に要する経費の助成	策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
	がん医療についての情報提供	※目標設定なし						・がん拠点病院等における5年生存率、手術実績の公表（がん診療連携協議会） ・あきたがん情報ガイドの作成 ・啓発パンフレット等の作成、配布 ・フォーラム、セミナー等の開催	－
	（２）がん医療に携わる専門性の高い医療従事者の育成								
	人材育成の支援 専門性の高い看護師の育成支援 人材育成のための環境整備	がん薬物療法認定薬剤師数	50人	12人	14人	H28	日本病院薬剤師会（H28. 10. 1現在）	・拠点病院等の緩和ケア研修会に要する経費に対する助成。 ・がん関連の専門性の高い医療従事者の育成に要する経費に対する助成、助成対象資格の拡充	策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
		がん専門薬剤師数	2人	0 人	0 人	H28	日本病院薬剤師会（H28. 10. 1現在）		策定時と比して変わらず、目標値は達成していない。
		がん分野の認定看護師数	70人	37人	59人	H28	日本看護協会（H29. 3. 22現在）		策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
		がん分野の専門看護師数	5人	0 人	6人	H28	日本看護協会（H29. 3. 22現在）		目標値を達成している。
	（３）医療機関の整備と連携体制の構築								
	がん医療体制の充実	※目標設定なし						・国のがん拠点病院等の指定要件の強化に対応した新たながん診療提供体制の整備 ・北秋田医療圏のがん拠点病院等の空白解消のための体制整備への支援	－
	患者への情報提供	※目標設定なし						・相談支援センターの運営支援 ・拠点病院等の体制整備への支援 ・あきたがん情報ガイドの作成	－
	セカンドオピニオンの体制整備	※目標設定なし							－
	地域における連携体制整備	拠点病院等において、5大がんすべての地域連携クリティカルパスを活用	12病院	0 病院	2 病院	H28	秋田県がん診療連携協議会調べ（H29. 2. 27）		策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
	（４）がんと診断された時からの緩和ケア								
	質の高い緩和ケアを実施するための人材育成	緩和ケア研修会修了者数	（医師） がん診療に携わるすべての医師	429人	1, 154人	H28	がん対策室調べ（H29. 7. 27現在）	・拠点病院等の緩和ケア研修会に要する経費に対する助成。 ・緩和ケアに関する医療従事者研修の実施	策定時に比して増加しており、国の求める「がん患者の主治医・担当医」の90％以上の受講を全てのがん拠点病院等が達成している。
			（医師以外） 1, 500人	618人	1, 193人	H28	がん対策室調べ（H29. 3. 22現在）		策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
	緩和ケア提供体制の整備 地域における連携体制の整備	2次医療圏ごとに、緩和ケアチームを設置している医療機関を複数箇所整備	8 医療圏	3 医療圏	3 医療圏	H26	医療施設調査（平成26年） ※3年ごとの調査	・緩和ケアに関する医療従事者研修の実施 ・拠点病院以外の一定の診療実績を有する緩和ケアチーム設置のための支援 ・緩和ケア部会の開催（がん診療連携協議会）	策定時と比して変わらず、目標値は達成していない。
		県北地域及び県南地域にそれぞれ緩和ケア病棟を確保	県北 1 施設 県南 1 施設	県北 0 施設 県南 0 施設	県北 0 施設 県南 1 施設	H26	医療施設調査（平成26年） ※3年ごとの調査 ※がん診療連携拠点病院現況報告（H28. 9. 1）	・拠点病院以外の緩和ケアや相談支援等の体制整備に要する経費に対する助成	県南のみ目標値を達成している。
	緩和ケアの普及啓発	※目標設定なし						・二次医療圏ごとの緩和ケアマップの作成（がん診療連携協議会）	－
	（５）がん患者への在宅医療提供の推進								
	在宅緩和ケア提供体制の整備	2次医療圏ごとに、在宅緩和ケア提供のための協議会を設置	8 医療圏	－	0 医療圏	H29	がん対策室調べ（H29年）	・在宅緩和ケアに関する医療従事者研修の開催	策定時と比して変わらず、目標値は達成していない。
	地域完結型の体制整備								
	（６）リハビリテーション・小児がん等への対応								
	がんリハビリテーションの推進	拠点病院等で、がんリハビリテーションが実施できる体制を整備	12病院	2 病院	12病院	H28	がん診療連携拠点病院現況報告（H28. 9. 1） 北秋田市民病院現況報告書（H28. 9. 1）	・ウィッグ等医療用補正具への助成	目標値を達成している。
	後遺症対策								
	小児がん拠点病院との連携								

【個別目標の評価】

H29. 7. 27現在

	分野別施策	目標項目		目標値	計画策定時の基準値	現状値	年度	現状値出典	2期計画中に講じた施策	評価
がん情報に関する相談支援と充実	がんサロン活動の推進	がんサロンを定期的に開催	拠点病院	12病院	4 病院	8 病院	H28	がん対策室調べ（H28年）	・ 相談支援センターの運営支援	策定時に比して増加しているが、目標値は達成されていない。
			患者団体等	8 ヶ所	4 ヶ所	8 ヶ所	H28	がん対策室調べ（H28年）	・ がんサロン活動、ピアサポート研修会開催、普及啓発等に要する経費に対する助成	目標値を達成している。
	ピアサポート相談体制の充実	相談支援センターに、がん患者・経験者の協力を得て、ピアサポート相談体制を整備		12病院	1 病院	1 病院	H28	がん診療連携拠点病院現況報告（H28. 9. 1） 北秋田市民病院現況報告書（H28. 9. 1）	・ 相談支援センターへの運営支援 ・ あきたがん情報ガイドの作成	策定時と比して変わらず、目標値は達成していない。
	相談支援センターの機能強化									
	情報提供の充実	※目標設定なし								—
がん登録の充実	がん登録の周知	※目標設定なし							・ 地域がん登録の年間集計報告。 ・ 院内がん登録の周知、報告。 ・ 5 年相対生存率の公表。	—
	がん登録の人材育成	※目標設定なし							・ がん登録部会の実務者研修の開催。（がん診療連携協議会） ・ 全国がん登録のための実務者研修の開催。	—
	がん登録の質の向上	※目標設定なし							・ 全国がん登録の実施。	—
	がん登録データの活用	地域がん登録データの活用申請数		8 件	3 件	30件	H28	がん対策室調べ（H29. 3. 22現在）	・ 県民のがん罹患情報を収集。 ・ 利用申請に基づく、地域がん登録データの提供。 ・ 地域がん登録の年間集計報告。 ・ 院内がん登録の周知、報告。 ・ 5 年相対生存率の公表。	目標値を達成している。
がん研究の推進	がん研究の促進と研究成果の情報発信	公開フォーラム、市民公開講座などで、秋田大学等の研究成果を県民に周知		10回	—	12回	H28	がん対策室調べ（H28年）	・ 秋田大学医療フォーラムへの参画 ・ 院内がん登録のデータ分析、がん治療等に関する提言等。	目標値を達成している。
	コホート研究への協力と成果の周知	講演会などで、コホート研究の研究成果等を県民に周知		5 回	1 回	4 回	H28	がん対策室調べ（H28年）	・ 横手地域の住民を対象にした国立がん研究センターによる疫学研究。	目標値を概ね達成している。
がんの啓発・普及	がん教育の推進	学校での「がん教育」を実施		57回	2 回	66回	H28	がん対策室調べ（H28年）	・ 小中高生を対象にがん予防授業を実施。	目標値を達成している。
	がんに関する正しい知識の普及啓発	フォーラム、講演会、研修会、公開講座などで、県民に対する啓発プレゼンを実施		500回	100回	247回	H28	がん対策室調べ（H28年）	・ 県内テレビ局を中心とした実行委員会が行う情報発信に参画し、フォーラム、セミナー等を開催。	策定時に比して増加しているが、目標値は達成していない。
がん対策の実現	がんになっても安心して暮らせる地域社会の構築	拠点病院等の相談支援センターで、がん患者の就労を含めた社会的な問題に関する相談に対応		12病院	—	12病院	H28	がん診療連携拠点病院現況報告（H28. 9. 1） 北秋田市民病院現況報告書（H28. 9. 1）	・ がん患者等の就労に関する実態調査、就労支援に関する研修会の実施。	目標値を達成している。
	働く世代への職場における相談支援体制の充実	※目標設定なし							・ 長期療養者就職支援担当者連絡協議会への参加。 ・ 情報共有。	—
	企業等の取組	※目標設定なし							・ がん検診推進協議会、地域職域連携推進協議会の開催。	—
	勉強会の開催	※目標設定なし							・ 長期療養者就職支援担当者連絡協議会への参加。 ・ 就労支援ワーキンググループへの参加（がん診療連携協議会）。	—